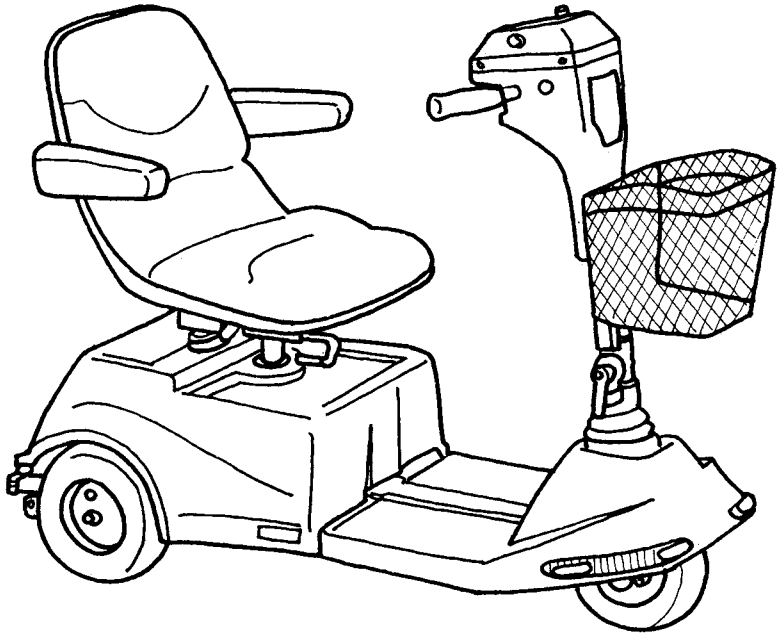
クボタ電動カート

取扱説明書

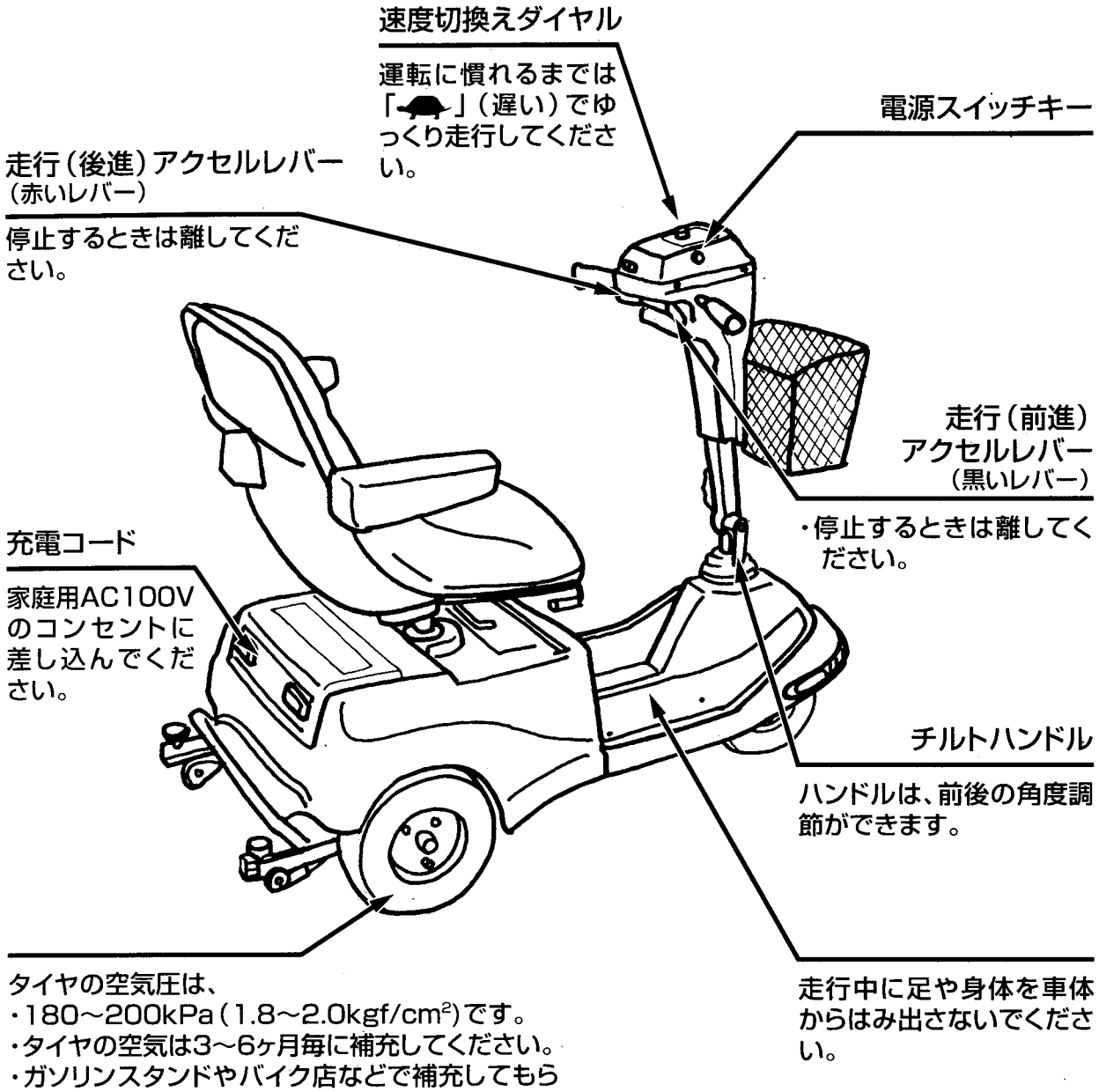
ラクーターメリッツ
SP-13



街の中へ・光の中へ
カートのある
快適な暮らし

安全宣言
安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください



■電動カートはJIS T9203-1987「電動車いす」に適合しています。

●電動カートご使用のお客様または持ち主の方へ

電動カートを他人に貸す場合は取扱い方法を必ず説明し，「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
また，電動カートを譲渡するときは，この「取扱説明書」を一緒に引き渡してください。

●心臓用ペースメーカーを使用中の方へ

ペースメーカーをつけている人は，乗る前に医師に相談してください。
（モータ等からの電磁波がペースメーカーの機器に影響を与えることがあります。）

はじめに

必ず読んでください。

このたびはクボタ製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い・操作方法、簡単な点検およびお手入れについて説明しています。**ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な運転をするためこの冊子をご活用ください。**また、お読みになった後、必ず大切に保存し、分からないことがあったときには取出してお読みください。
なお、製品の仕様変更などにより、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

Y0041-6111-1

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い・操作上の注意事項について、次のように表示しています。

⚠ **危 険** ：その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ **警 告** ：その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるものを示します。

⚠ **注 意** ：その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるものを示します。

重 要 ：注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。

補 足 ：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

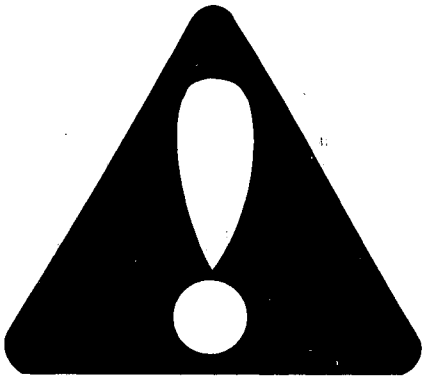
上記で⚠注意とした内容でも、状況によっては重大な結果につながる場合がありますので、その指示に従ってください。

目　次

⚠注意 **安全運転のために**……1
1.運転の練習……3
2.交通ルール……5
3.禁止事項……6
4.走行上の注意……7
5.斜面走行上の注意……10
6.⚠表示ラベルと貼付け位置……12
運転装置・各部の名称と取扱い……13
走行前の点検……17
運転のしかた……18
運転のまえに……18
発進するとき……19
片手での操作方法……20
走行するとき……20
停止するとき……21
降りるとき……21
充電のしかた……22
充電の必要なとき……22
バッテリの取扱い……25
バッテリメータの表示と走れる距離の目安……25
バッテリの取外し方……28
バッテリの取付け方……30
保守のしかた……31
手入れと保管……32
1.掃除のしかた……32
2.タイヤの点検・調整……32
3.保　管……33
定期点検……34
定期点検記録簿……35
故障のときの処置……36
電気配線図……37
主要諸元／寸法図……38
アフターサービスについて……39

⚠ 注 意 安全運転のために 必ず読んでください。

本機をご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも、本文の中で ⚠ 警 告・⚠ 注 意 ・ 重 要 ・ 補 足 としてそのつど取上げています。



B-1496

安全作業シンボル

このシンボルは“安全注意”を示します。
電動カートの注意銘板あるいはこの取扱説明書で、このシンボルを見た場合、安全に注意してください。
記載内容に沿って予防処置を講じ、“安全運転・正しい管理”を行ってください。

⚠ 警 告（ブレーキ解除スイッチの操作上の注意）

衝突・転倒の恐れがあります。
下り坂では絶対にブレーキ解除スイッチボタンを押さないでください。

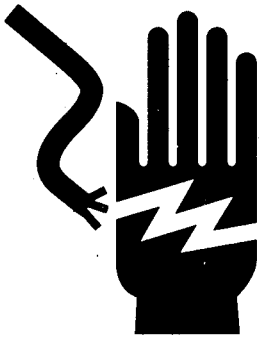
・下り坂でブレーキ解除スイッチボタンを押すと，ブレーキがきかず停止することができなくなり，事故につながります。

注 意 安全運転のために

警 告（充電時の注意）

引火爆発の恐れがあります。
充電中にバッテリに火気を近づけないでください。

・バッテリは充電中に可燃性のガスを発生することがありますので，バッテリに火気を近づけたり，バッテリの近くで喫煙しないでください。
・他の充電器で行う急速充電は絶対しないでください。
・充電は直射日光を受けない，風通しのよい所で行なってください。



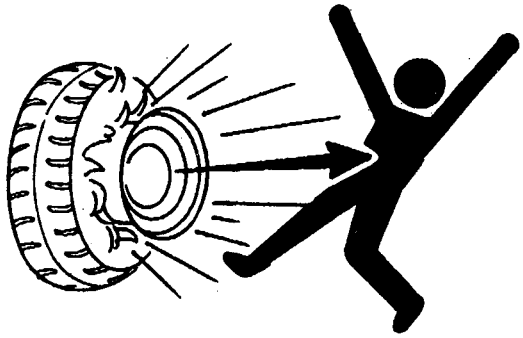
感電の恐れがあります。
濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

次のような場合は感電する恐れがありますので，注意してください。

・雨・露を受けない所，湿気の少ない所で充電してください。
・雨・露などで車体や充電コード・プラグが濡れているときは，乾くまで待って充電してください。
・濡れた手は，よくふき取ってから充電してください。

警 告（タイヤ破裂の注意）

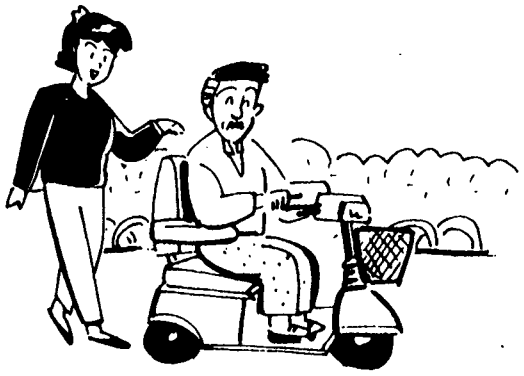
・タイヤの空気圧は、取扱説明書（➡P.33）に記載している適正空気圧を必ず守ってください。
・空気の入れ過ぎは、タイヤ破裂の恐れがあり死傷事故を引き起こす原因になります。



・タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないで下さい。タイヤ破裂の恐れがあります。
・タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は、必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行うように、法で決められています。）

1.運転の練習

公園・広場などの安全な広い場所で、介助者と共に自信がつくまで,十分練習してください。

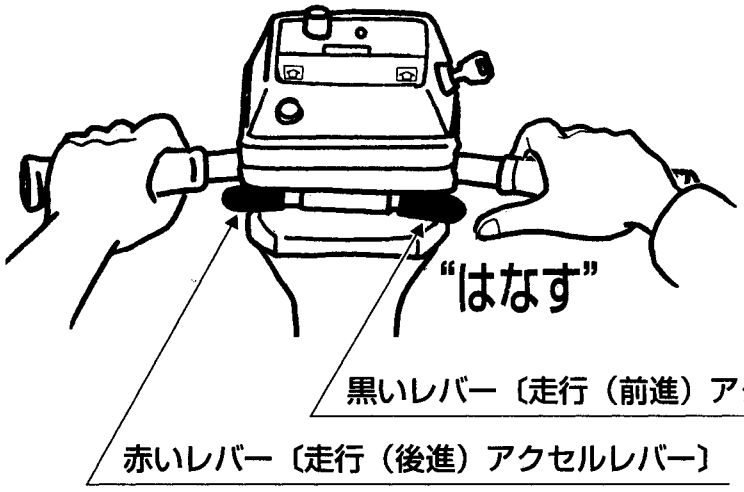


・運転に慣れるまでは絶対に一人で運転しないでください。
・運転に慣れるまでは、低速（🐢）で運転してください。

介助者の方へ

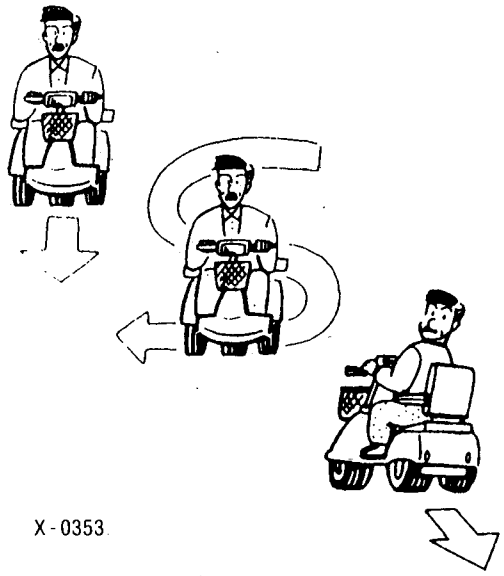
速度切換えダイヤルを低速（🐢）に切換えると微速になります。速度切換えダイヤルに手の届く位置にいて指導してください。

停止するときは、走行（前進／後進）アクセルレバーを“はなす”ということを体で覚えてください。



注意 安全運転のために

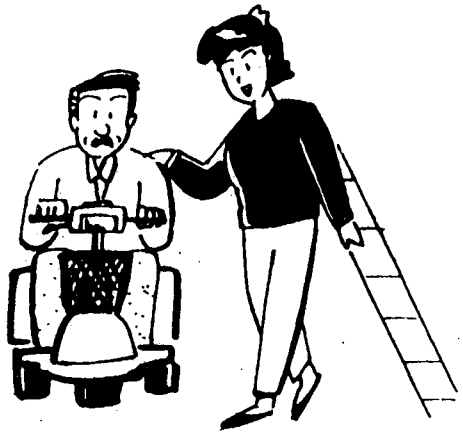
次の手順通り十分練習してください。



X-0353

- 最初は「遅い」にして前進の練習をしてください。
- 真っ直ぐに走ることができたら，大きく蛇行したり旋回して練習してください。
- 次に後進の練習をしてください。
  - ・慣れてきたら少しずつ「速い」方へ切り換えて練習してください。
  - ・次に前進と後進を使っての切り返しをして，目的地点で止まる練習と方向転換の練習をしてください。

初めて道路に出るときは・・・・・・



X-0354

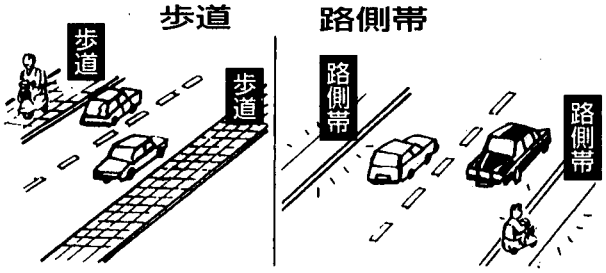
- ●初めて道路に出るときは，通常通る道順に沿って、介助者と共に安全を確かめて走行してください。
- ●特に、踏切は大変危険ですので避けてください。どうしても通るときには、介助者と一緒に渡ってください。
- ●事前に不測の事態を考え、介助者と共に安全な走行のしかたを確認しておいてください。

(→ P.8)

2.交通ルール

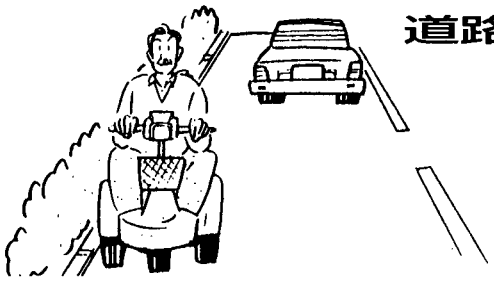
電動カートは、道路交通法上、身体障害者用車椅子になり、歩行者として取扱われます。従って、運転免許証は不要ですが、歩行者としての注意義務やマナーを必ず守って、安全運転を心掛けてください。

常に歩行者用道路を走行してください。



・歩道や十分な幅のある路側帯（白線の外側）を走行してください。車道を通ってはいけません。

歩道も路側帯もない道路では、道路の右側を走行してください。



・対向する自動車などがある場合は，右端の安全な場所で一旦停止し，通過するのを待ってください。

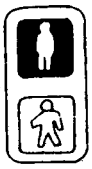
道路の横断のしかた

横断歩道の標識

・横断歩道や信号機のある所を横断してください。
・横断歩道は信号が「青」になってから，左右をよく見て安全を確認してから横断してください。

横断が禁止されている所は横断しないでください。

横断禁止の標識



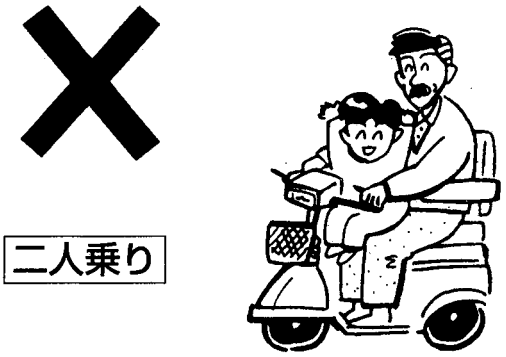
・横断禁止の標識のある所は，横断してはいけません。
・横断歩道は信号が「赤」のときは，横断してはいけません。

注意 安全運転のために

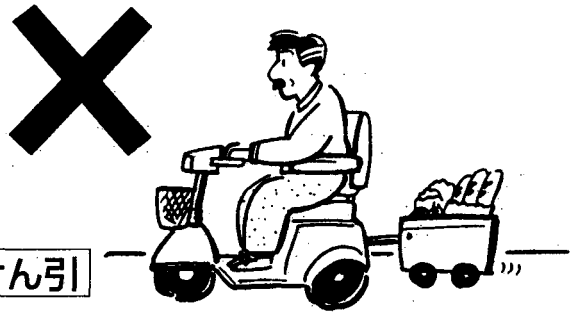
3.禁止事項

次のことは避けてください。

二人乗り

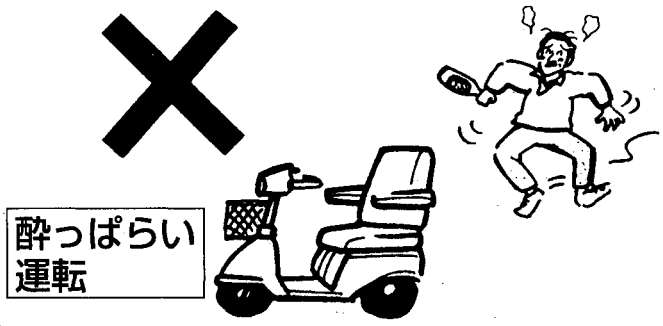


車両や荷物を引張っての走行

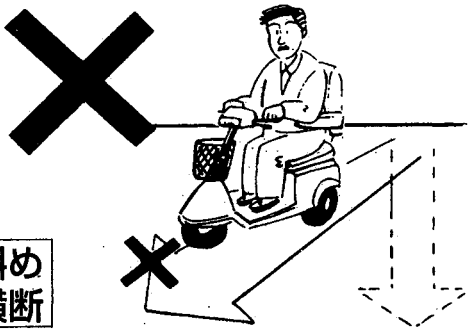


他の用途には使用しないでください。

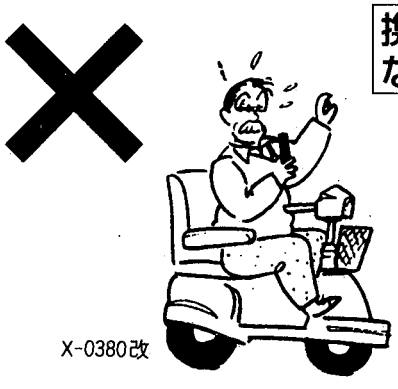
気分のすぐれないときや、飲酒をしたとき



道路の斜め横断



事故防止のため携帯電話や無線通信機器等は使用しないでください。

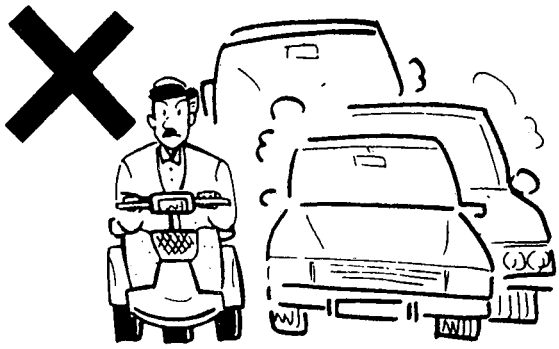


- 乗車中は必ず携帯電話や無線通信機器等のスイッチを切っておいてください。
- これらの機器を使用する場合は，必ず電動カートを安全な場所に止め，電動カートのスイッチを切ってから使用してください。

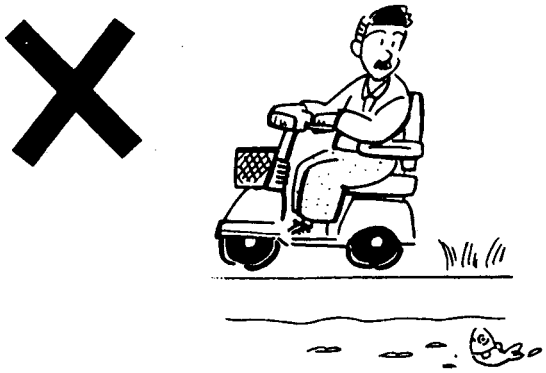
4 .走行上の注意

次のような場所や路面状態では危険が伴いますので、走行を避けるか、介助者の方を必ず同行してください。

交通量の多い道路及び雑踏の中



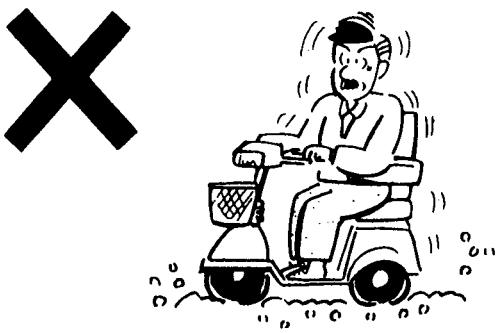
防止柵のない側溝及び池などの路肩



雨の日やぬかるみ

降雪・凍結時

凹凸の多い道，砂利道

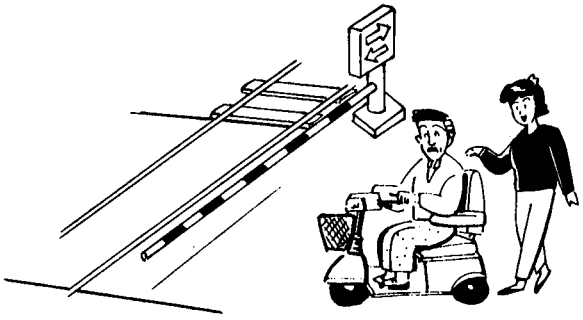


夜間

注意 安全運転のために

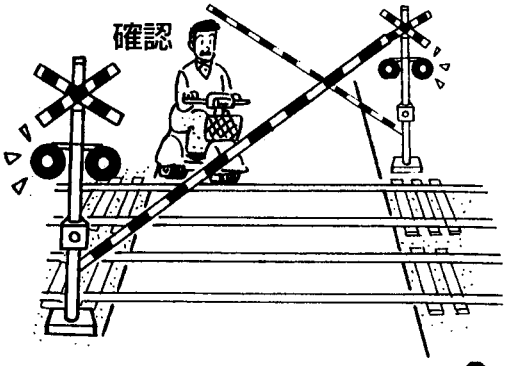
踏切の渡り方

事前に安全を確かめた踏切を渡りましょう。



●踏切の手前で一旦停止し，左右と前方の安全を確かめてから十分な余裕をもって渡ってください。

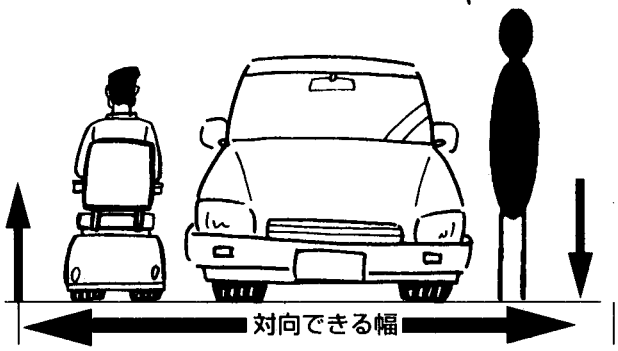
●また，踏切を渡る際，溝・線路に車輪をとられないよう注意して渡ってください。



●踏切を渡る事は状況により大変危険を伴います。できるだけ介助者と一緒に渡るか、事前に介助者と共に次のことを確かめておいてください。

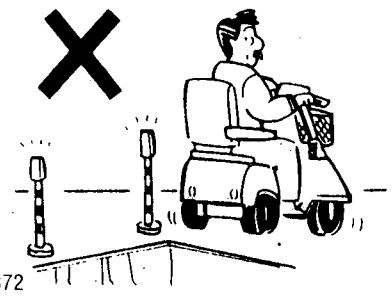
・警報が鳴り始めてからしゃ断かんが降りるまでの時間に、余裕を持ってその踏切を渡り切れること。

・踏切内で対向する車や人があっても、停止することなく容易に対向できる十分な幅があること。



次のような場所や路面状態では危険が伴いますので、細心の注意を払って走行してください。

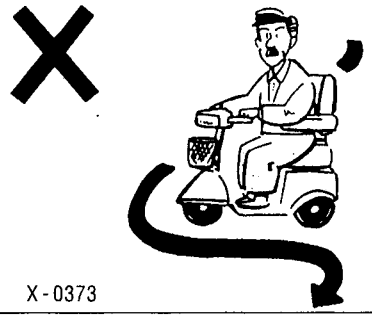
後進するときは，後方の安全を十分に確認してください。



・特に人・障害物・穴などがないことを確認してください。

・必ず低速（🐢）で後進してください。

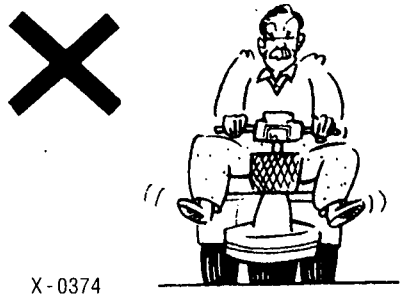
蛇行運転，急停止，急旋回は避けてください。



X-0373

・乱暴な運転は転倒や事故につながる恐れがあります。
なめらかな運転をしてください。

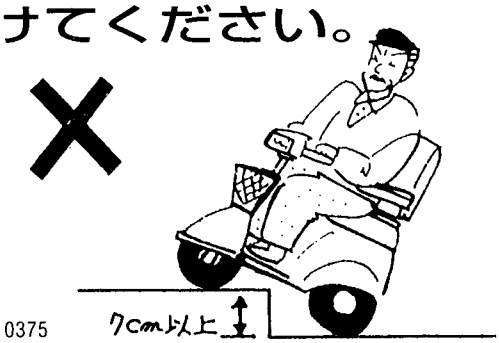
走行中に足や体を車体からはみ出さないでください。



X-0374

・車体と障害物の間に足や体をはさむと事故につながる恐れがあります。
・デッキに荷物を乗せての走行は危険です。

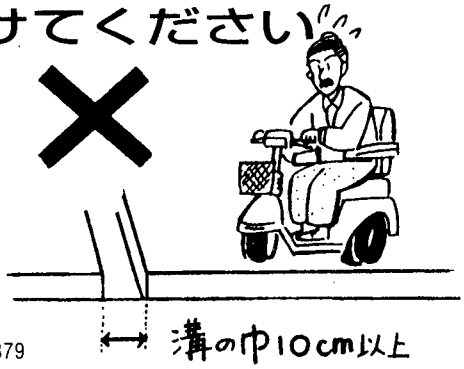
7cm以上の段差は乗り越えできませんので，避けてください。



X-0375

・段差を乗越えたり，降りたりするときは，速度を落としてゆっくりと行ってください。
・また，段差に直角方向に行って，左右の後輪が同時にかかるようにしてください。

10cm以上の溝越えはできませんので，避けてください。



X-0379

・溝越えをするときは速度を落としてゆっくりと渡ってください。
・また，溝に直角方向に行って，左右の後輪が，同時に越えるように渡ってください。

注意 安全運転のために

5.斜面走行上の注意

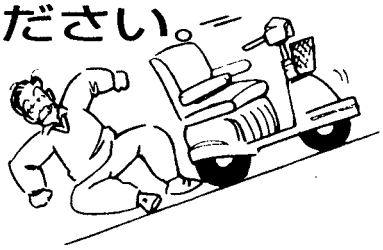
全ての斜面走行は平坦な所よりはるかに危険です。
次のような場所や路面状態では転倒する恐れがありますので走行を避けてください。

10度以上の急坂は転倒の恐れがありますので避けてください。

×

下り坂での後進は転倒する恐れがありますので、避けてください。

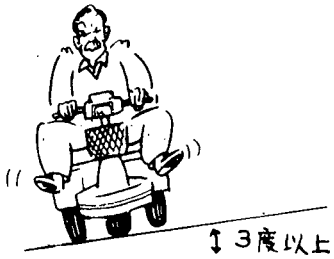
×



・前進で下りてください。

3度以上の傾斜面の横切りは避けてください。

×



・傾斜面の横切りは危険です。
・坂下側にハンドルが取られやすく，転倒する恐れがあります。

上り坂での段差乗越え、溝越えは避けてください。

×

・前輪が浮いて，転倒する恐れがあります。
・凹凸のある道は，車輪が穴にはまり，より急な斜面となり転倒する恐れがあります。

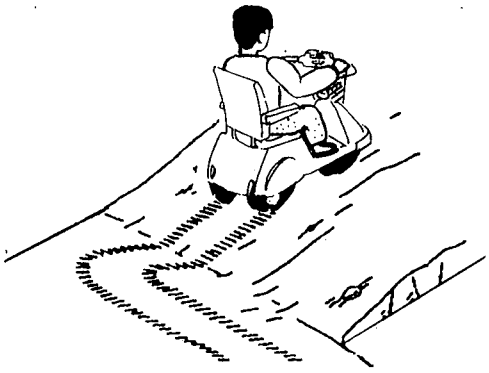
下り坂は「低速」（遅い）でゆっくり走行してください。

・坂下側にハンドルが取られ易く，転倒の恐れがあります。
・制動距離は条件によって変わるので，停止操作は余裕をもって行なってください。

坂道での駐停車は避けてください。

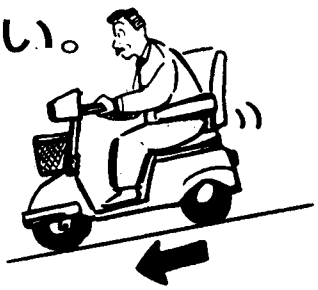
・駐停車するときは，坂道を避けて必ず平坦な所で行ない，キーを抜いてください。坂の途中，車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。
・坂道での乗り降りは避けてください。
必ず平坦な所で乗降してください。

坂道は必ず直進で走行してください。



・最大傾斜面は必ず図のように直角に入ってください。
・急ハンドルを切ると転倒の恐れがありますので避けてください。

バスケットには積載条件から外れる荷物を載せないでください。



・バスケットの荷が重すぎると、坂道での下りは転倒する恐れがあります。

⚠注意 安全運転のために

6.⚠表示ラベルと貼付け位置

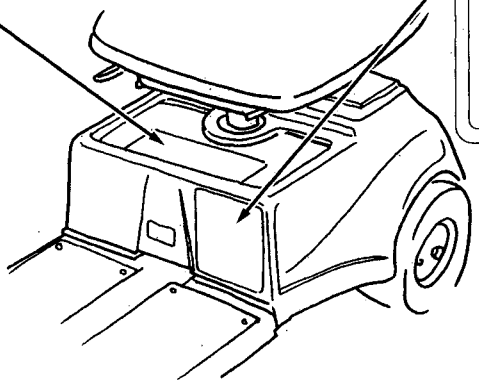
電動カートには，次の⚠表示ラベルが貼ってあります。
よくお読みになって安全に走行してください。

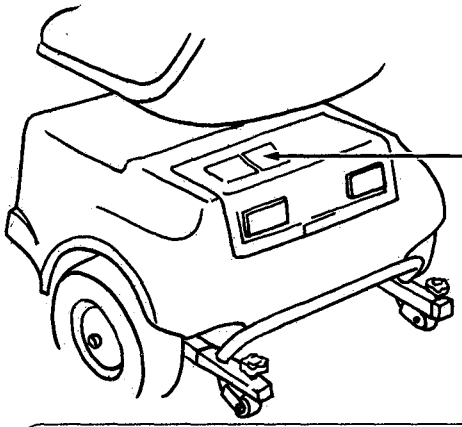
⚠警告

	引火爆発の恐れがあります。 充電中バッテリに火気を近づけないでください。		感電の恐れがあります。 濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。		衝突・転倒の恐れがあります。 ブレーキ解除スイッチを手押しの位置で乗車走行しないでください。

⚠注意

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになって、正しい取扱いで安全運転に心がけてください。
- ○気分のすぐれない時や、飲酒したときは運転しないでください。
- ○10度以上の急坂・登り坂での段差乗り越えや溝乗り越え3度以上の斜面での斜め走行は転倒する恐れがありますので、避けてください。
- ○下り坂での後進は転倒する恐れがあります。前進で降りてください。
- ○蛇行運転・急停止・急旋回は転倒する恐れがありますので避けてください。
- ○段差や溝は直角に乗り越えてください。7cm以上の段差及び10cm以上の溝は乗り越えできませんので避けてください。
- ○二人乗りや他の車両を牽引はしないでください。
- ○次のような場所や路面状態では走行を避けるか、介助者と同行してください。
  交通量の多い道路・踏切・幅の広い道路の横断歩道
  - ○防止策のない側溝及び池等の路肩・雨の日やぬかるみ。
  - ○雪道や凍結路・砂利道・夜間等。
- ○後進する時は、後方の安全を十分に確認してください。
- ○足や体を、車体からはみ出さないでください。





このカバーの中にある赤色のボタンスイッチはブレーキ解除スイッチです。
このボタンを押している間手押しで移動できます。緊急非常時のみ使用して下さい。

⚠警告

走行時及び下り坂では絶対にこのブレーキ解除スイッチボタンを押さないでください。

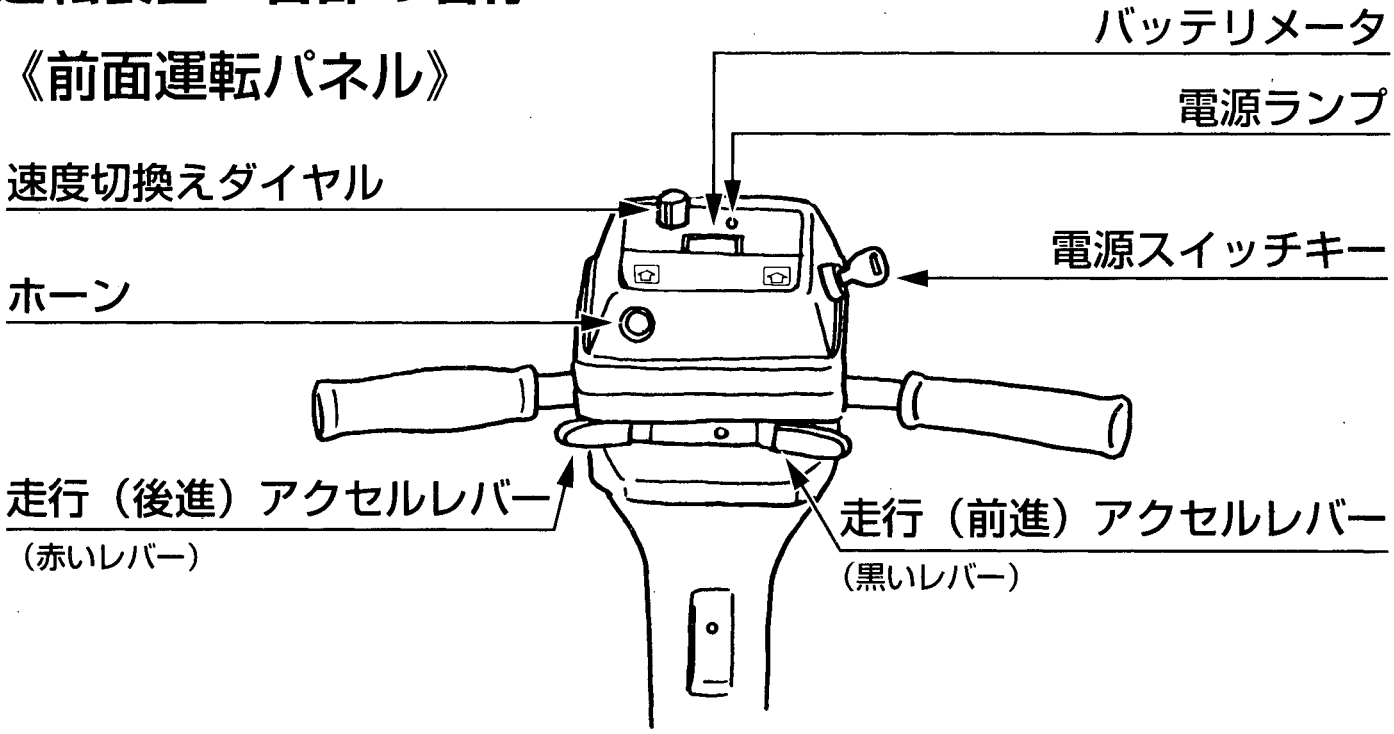
⚠表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
(3)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
(4)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

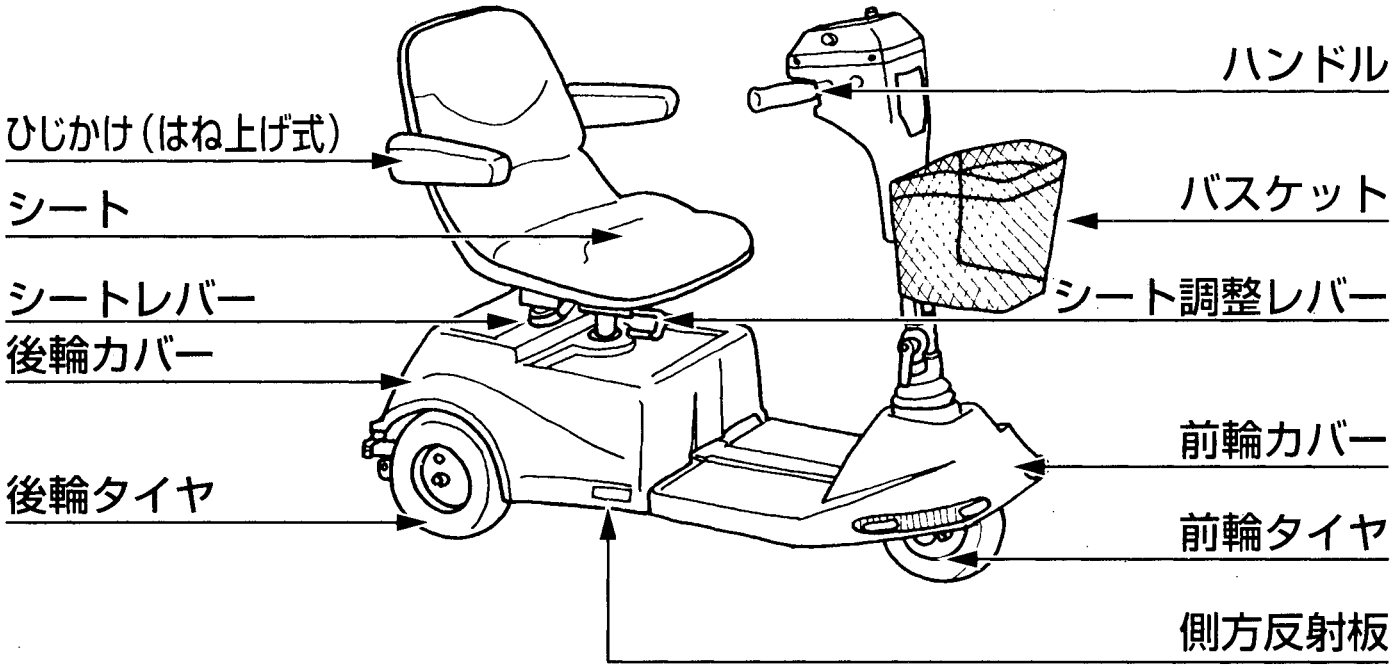
運転装置・各部の名称と取扱い

運転装置・各部の名称

《前面運転パネル》



《全体右側面》

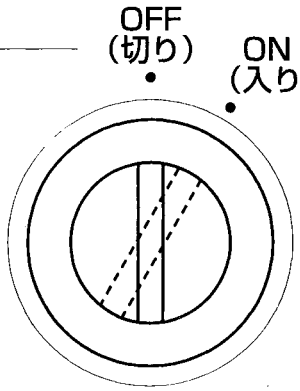


運転装置・各部の名称と取扱い

・電源キースイッチ

電源OFF(切り)
走行できません。

充電するときは、
この位置で行なって
ください。
この位置で、キーを
抜いてください。



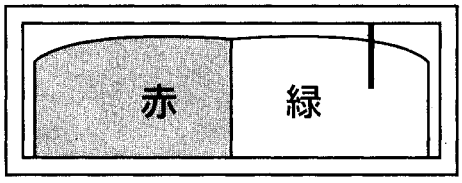
電源ON(入り)
走行できます。

ONにすると、パネル
上の電源ランプが点灯
します。

注 意

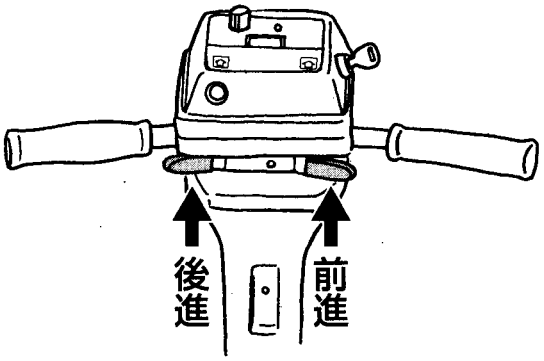
＊走行中にキーを「OFF(切り)」位置にすると，急停止して危険です。
＊乗り降りのときには，必ずキースイッチをOFF（切り）にしてください。

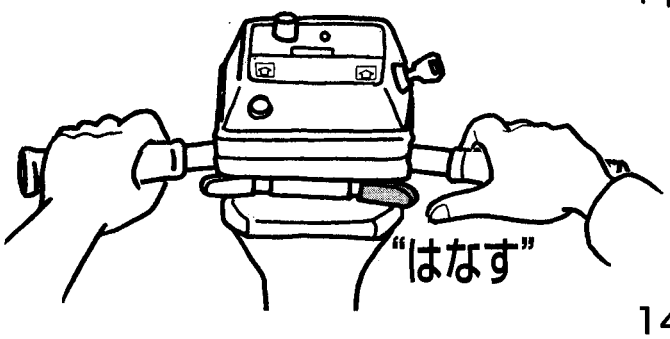
・バッテリメータ（容量）



バッテリメータは、バッテリの残量を示します。
メータの針が**緑**の範囲であれば**「走行」**でき、
メータの針が**赤**の範囲に近づけば**充電**してください。（P.23参照）

・走行・停止（前進／後進切換え）アクセルレバー

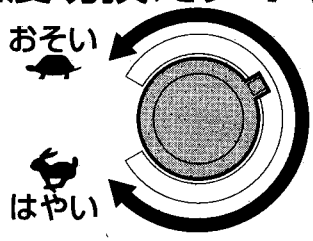




前面運転パネルの真下にアクセルレバーがあります。
＊1本のレバーで「前進／停止／後進」を行う前後スイング式を採用しています。
＊アクセルレバーは、前進・後進共にレバーを前にいっぱい押すと「速く」なります。
＊レバーから手をはなすと「停止」します。

運転装置・各部の名称と取扱い

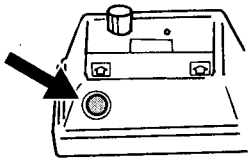
・速度切換えダイヤル



前・後進時の最高速度を設定できます。

・左回し（🐢）が低速で、右回し（🐇）に回すにつれ速くなります。
・最高速度：前進6km/h、後進2km/h

・ホーンボタン（警笛）



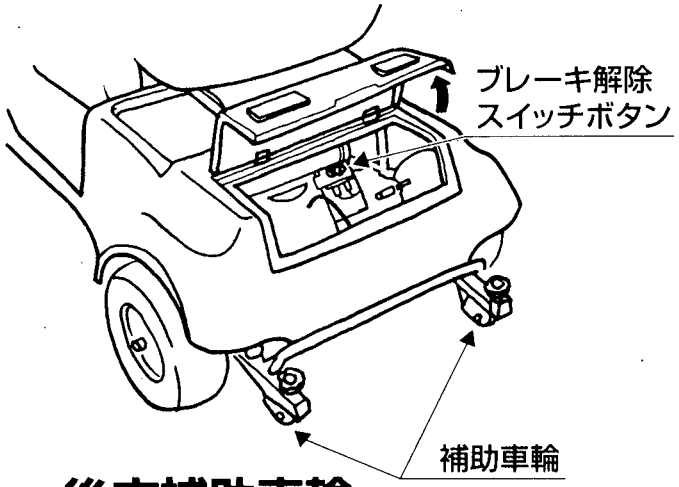
ホーンボタンを押すと、ブザー（警告装置）が鳴ります。

・ブレーキ解除スイッチ(手押しで動かす必要のあるときに使用)

警 告

＊ブレーキ解除スイッチボタンを押すと、ブレーキがききません。
＊下り坂では絶対にブレーキ解除スイッチボタンを押さないでください。下り坂でブレーキ解除スイッチボタンを押すと、ブレーキがきかず停止することができなくなり、事故につながります。

●ブレーキ解除スイッチボタンを押すときは、電源スイッチを「OFF（切り）」にして必ず平坦な場所で行なってください。



ボタンを押したとき

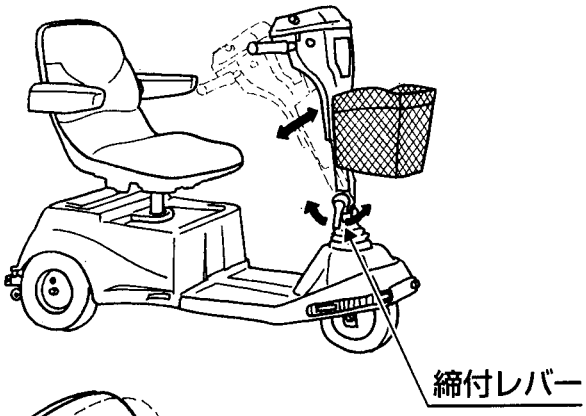
手押しで電動カートを動かすことができます。
＊車体の後ろにある後カバーを開け、トランスミッションの横にある赤いボタンを押すと、電気的にブレーキシステムが「解除」されます。この時手押しで電動カートを動かすことができます。

・後方補助車輪

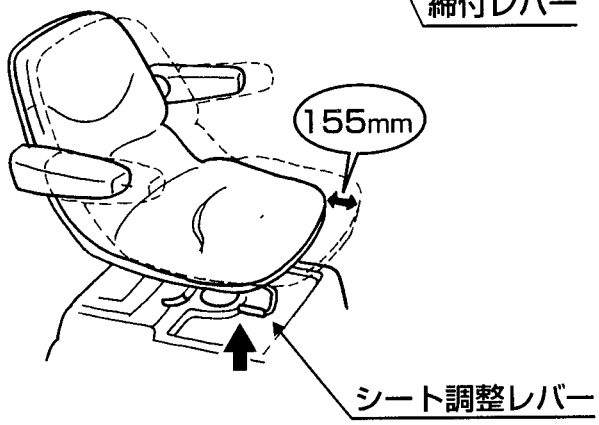
後転防止のため2つの補助車輪がついています。

運転装置・各部の名称と取扱い

・ハンドル調整及びシート調整

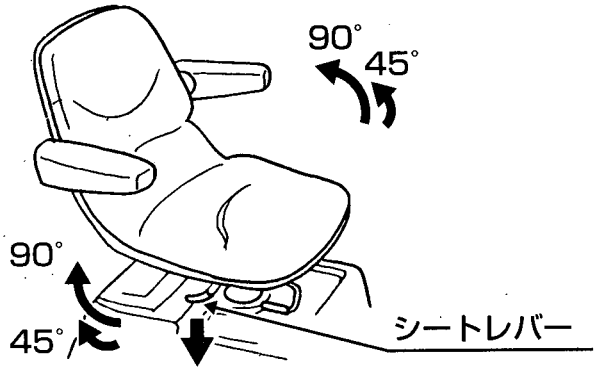


・お客様が楽な運転姿勢をとれるようにハンドルを前後（上下）に調節してください。
・締付レバーをゆるめることにより、ハンドルがチルトできます。調節後、必ず締付けてください。



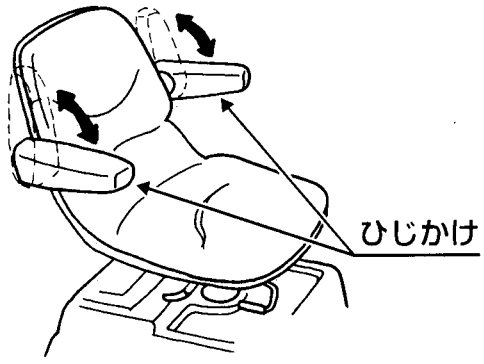
・シートは前後に155mm調整できます。
・シート調整レバーを引いたまま調整します。
・運転する前に、必ずシート調整レバーでシートが固定されていることを確認してください。

・シートの回転



・シートは乗り降りしやすいように、左右に回転します。
・シートレバーを下げることによって，シートを左右45度と90度の2段階で回転できます。
・運転する前に、必ずシートレバーで回転が固定されていることを確認してください。

・ひじかけの回動



・ひじかけは，上側に回動させることができます。
・乗り降りのときに上側に回動させると容易に乗り降りができます。

走行前の点検

注 意

＊走行する前に必ず次の項目について点検し，異常がないことを確認してください。
異常があれば，そのままでは使用しないでお買上げの販売店にご相談ください。

点検箇所	点　検　内　容
バッテリメータ	メータの針が緑の範囲の右側（Full）にありますか？
走行（前進／後進）アクセルレバー	前進しますか？後進しますか？ 押すと走行し、はなすと停止しますか？
ホーンスイッチ	ブザーは鳴りますか？
ハンドル	ゆるみやガタはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
充電コード	亀裂や損傷はありませんか？
反射器	汚れや損傷はありませんか？
タイヤ	空気圧は減っていませんか？ 適正空気圧は180～200kPa（1.8～2.0kgf/cm^2）です。
	摩耗や損傷はありませんか？
	釘、石などの異物が刺さっていませんか？
その他	車体やシートにゆるみや、ガタはありませんか？
	異常な音はしませんか？

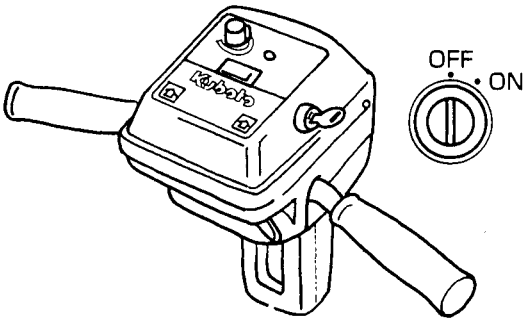
運転のしかた

注　意

＊電動カートには平坦な場所で乗り降りしてください。

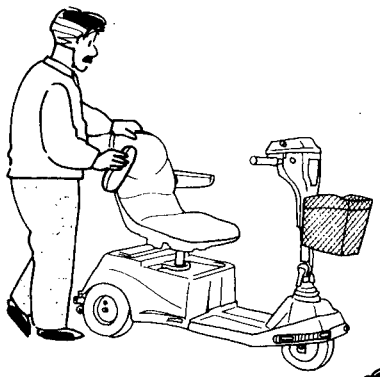
■運転のまえに

1　・乗る前にまず確認してください。



・電源スイッチが「**OFF(切り)**」になっていることを、必ず確認してください。
・バックミラー（オプション）装着時，バックミラーに後方が正しく写るように調整してください。

2　・電動カートに乗り込み、シートに深く腰掛け、正しい運転姿勢をとってください。



・電動カートの横に立ち、シートを回転させ、ひじかけを上げ、シートに座ってください。
・シートレバーを下げ、シートを回転させ、正面に向けてください。
・運転の前に、シートの回転がレバーで固定されているか確認してください。

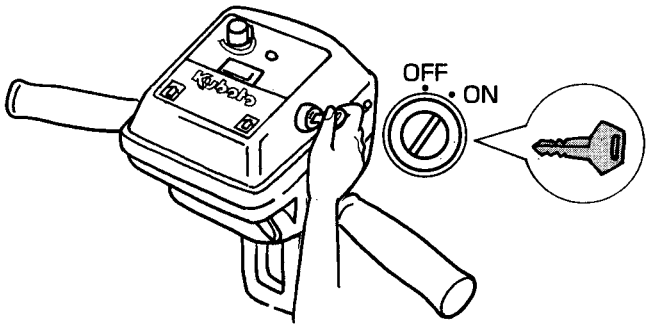
補　足

＊楽に操作ができないときは、P.16のようにハンドル調整及びシート調整を行ってください。

運転のしかた

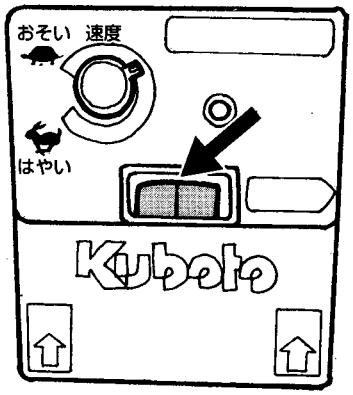
■発進するとき

1 ・電源スイッチにキーを差し込み、「ON（入り）」にしてください。



---

2 ・バッテリメータで、バッテリの残量を確認してください。針が緑の範囲にあり、できれば右側（Full）にあること。

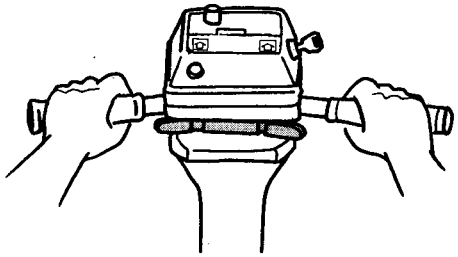


重　要

＊バッテリメータが赤の範囲に近づくか、赤の範囲にあるときは、走行する前に必ず充電してください。（充電のしかたは23ページ参照）

---

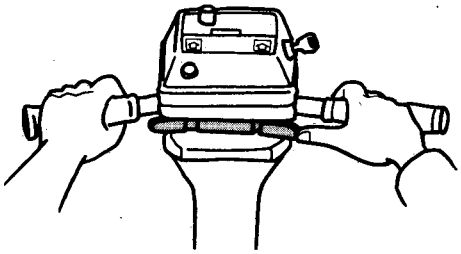
3 ・左右のハンドル軸をしっかりと握ってください。



---

4 ・走行（前進／後進）切換えアクセルレバーを、前進側に右親指のはらでゆっくり押し、発進してください。

深く押せば押すほど走行速度が速くなります。

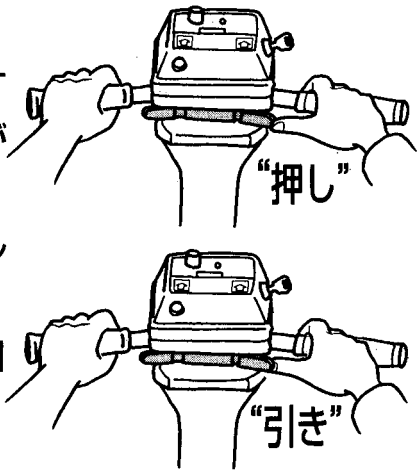


運転のしかた

■片手での操作方法

●アクセルレバーは、親指の「押し／引き」で操作できますので、左右の片手での操作で電動カートを運転することができます。

●図のように、右手でハンドルを握り、その親指でアクセルレバーを前へ押すと「前進」します。
又、逆に親指でアクセルレバーを手前に引くと、「後進」します。

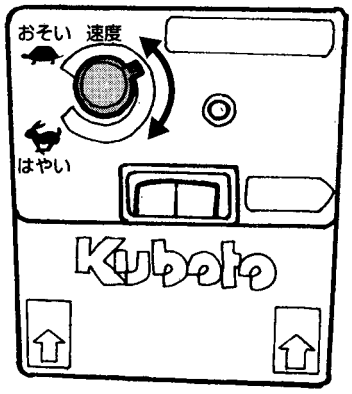


■走行するとき

1

・スピードを増減したいときは、速度切換えダイヤルを「🐇（速い）／🐢（遅い）」の切換えを適宜に行ってください。

・又、アクセルレバーの「押し／引き」加減によっても「加速／減速」ができます。



---

2 **・走行しながら状況により速度切換えを行ってください。**

補　足

＊運転に慣れるまでは、低速（🐢）で走行してください。

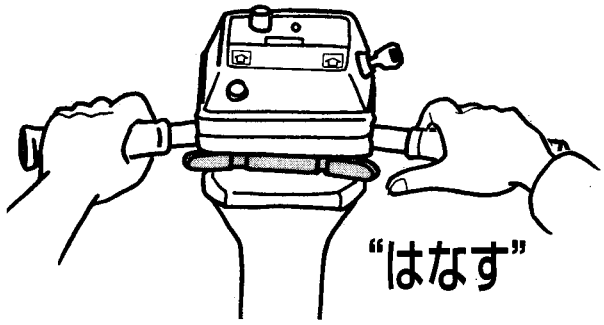
注　意

＊走行中に電源スイッチキーを「OFF(切り)」にすると急停止して、ハンドルをとられたり、転倒する恐れがあります。特に、後進走行中には絶対に電源スイッチキーを「OFF(切り)」にしないでください。

運転のしかた

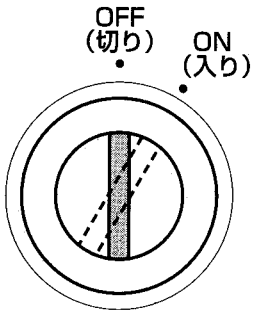
■停止するとき

1 ・アクセルレバーから手をはなすと、ブレーキがかかります。



■降りるとき

1 ・平坦な場所を選んで、電動カートを完全に止めてください。



2 ・降りるときは、電源スイッチを「OFF（切り）」にして、キーを抜いてください。

注 意

＊乗り降りのときには、必ずキースイッチをOFF（切り）にしてください。

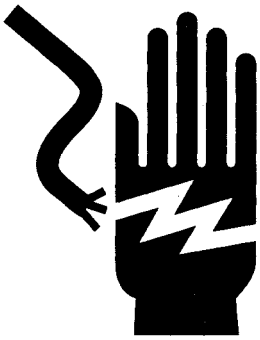
＊キーは無断で使用されたり、子供のいたずらを防ぐためにも厳重に保管してください。

充電のしかた

⚠ 警 告（充電時の注意）

引火爆発の恐れがあります。充電中にバッテリに火気を近づけないでください。

・バッテリは充電中に可燃性のガスを発生することがありますので，バッテリに火気を近づけたり，バッテリの近くで喫煙しないでください。
・他の充電器で行う急速充電は絶対しないでください。
・充電は直射日光を受けない，風通しのよい所で行なってください。



感電の恐れがあります。濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

次のような場合は感電する恐れがありますので，注意してください。
・雨・露を受けない所，湿気の少ない所で充電してください。
・雨・露などで車体や充電コード・プラグが濡れているときは、乾くまで待って充電してください。
・濡れた手は，よくふき取ってから充電してください。

重 要

＊次の場合はバッテリの故障の原因になりますので避けてください。
● 電動カート専用以外の充電器で，バッテリを充電しないでください。
● エンジン付発電機の電源で，バッテリを充電しないでください。
● バッテリの放電のし過ぎも，充電のし過ぎも，バッテリの寿命を短くします。
●充電完了後(充電器の緑ランプが点灯に変わった後)に，再充電することは避けてください。
これを何回も繰り返すと，バッテリを傷め寿命が短くなります。

充電の必要なとき

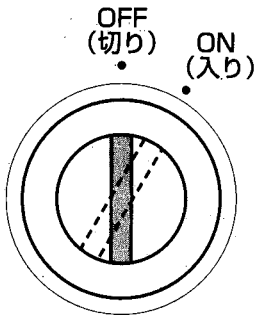
・購入後，初めてご使用になるときは必ず充電してください。
・通常は次の時間を目安にして充電してください。

30分以上(約2～3km以上)走行後

・バッテリメータが赤の範囲に近づいたら 赤 | 緑 必ず充電してください。
・バッテリは自然放電します。電動カートを長期間使用されなかったときは、2～3ヵ月に一度は充電してください。

充電のしかた

1 ・電源スイッチをOFF(切り)にしてください。

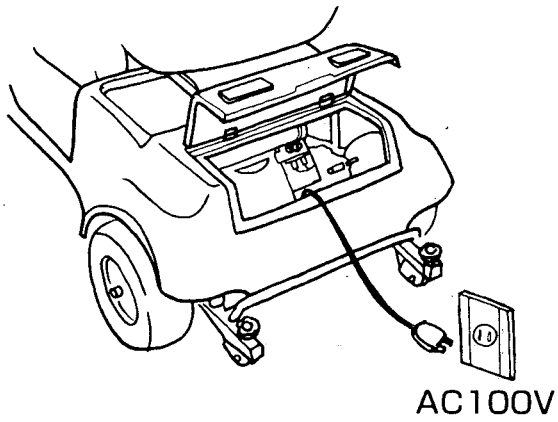


---

2 ・後カバーを開いて充電コードを引出してください。
・充電コードのプラグを家庭用AC100Vコンセントに確実に差し込んでください。

重　要

＊充電コードを強く引張ったりすると故障の原因となります。
＊充電コードを後カバーと後輪カバーの間に強く挟まないでください。

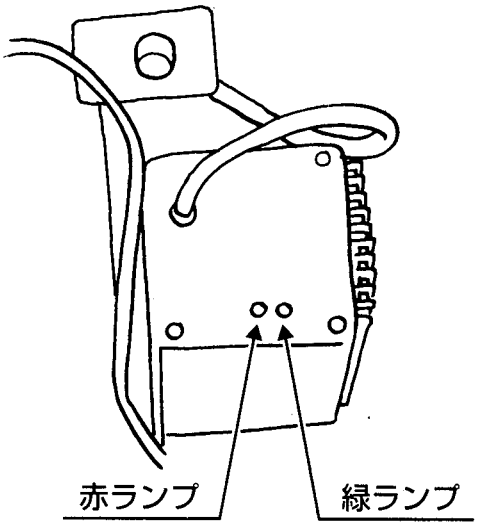


---

3 ・後カバーを開いて充電器の赤いランプが点灯しているか確認してください。
（充電器の導通確認）

補　足

＊もし、赤いランプが点灯しないときは、ドライヤなどの他の電気製品をつないで通電しているかを確認してください。



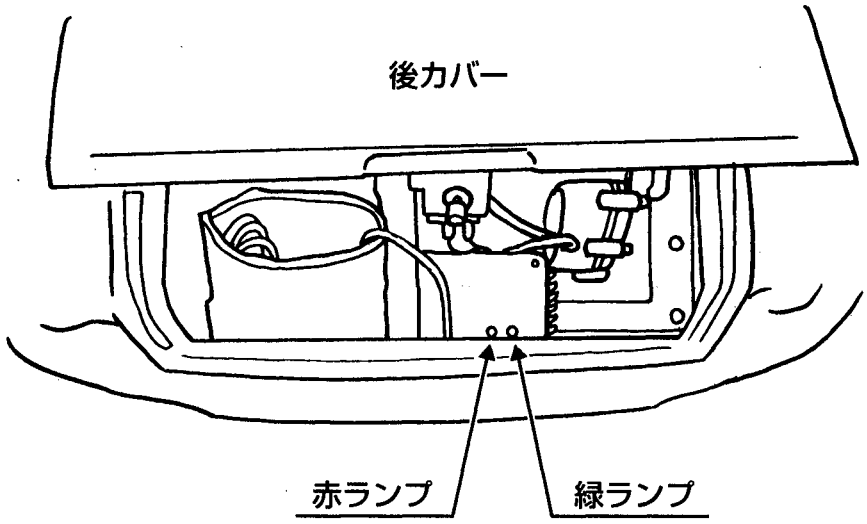
充電のしかた

4 ・後カバーを開いて、充電器の

①赤ランプが点灯したら、充電開始 赤 緑

②緑ランプが点灯したら、充電完了 赤 緑

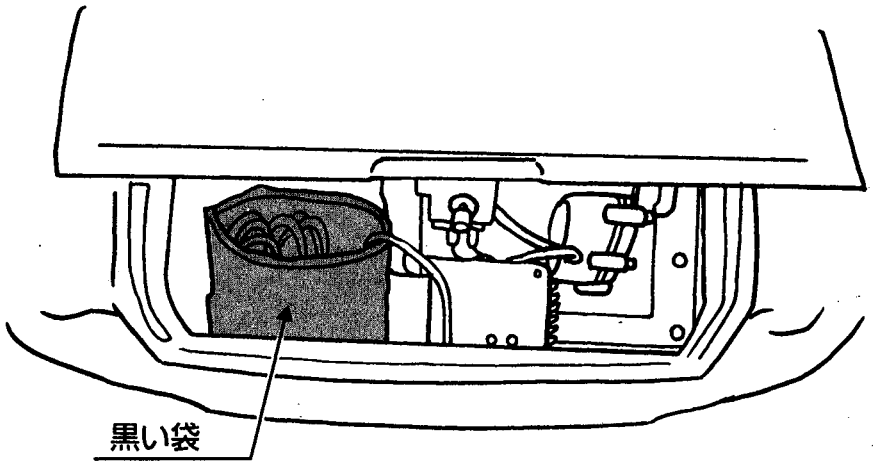
を示します。（バッテリの充電状態を確認）



---

5 ・充電が完了したら、充電コードのプラグの根元をもってコンセントから抜いてください。

・コードをいくつかに小さくたたんで、黒い袋にきちんと収納してください。

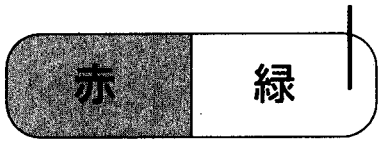


バッテリの取扱い

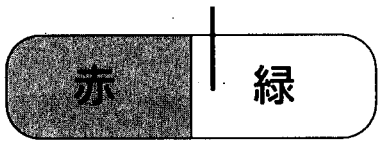
バッテリが劣化すると，電動カートの走行距離が短くなり，本来の性能を発揮しなくなります。次のことに注意して，少しでもバッテリを長持ちさせてください。

バッテリメータの表示と走行距離の目安

1 バッテリメータの表示



4～5時間



バッテリの残量が少ないので，
すぐに充電してください。

補　足

＊使用経過と共に、バッテリ容量が低下しますので、走行時間が段々短くなります。

＊冬場はバッテリの働きがにぶるため、バッテリメータの針が早く「赤の範囲」に移る傾向があります。

---

2 バッテリの取扱い

●バッテリメータは、バッテリの残量を示しています。バッテリメータの針は、走行距離が長くなるにつれ赤の範囲に近づいてゆきます。

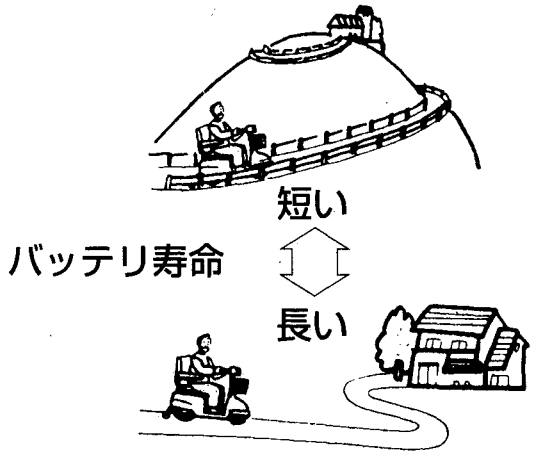
●平坦路走行時に「赤の範囲」に近づかない状態でお使いになると、安心して乗っていただけます。

●上り坂では、バッテリをたくさん使うので、平坦路に比べて「緑の範囲」から「赤の範囲」に早く近づきます。上り坂では速度を落とすことが、電気の消費量を少なくする上手な使い方です。

・平坦路から上り坂にかかったときバッテリメータが赤の範囲に近づくことがありますが、上り坂では一時期にたくさんの電気を使うためで心配はありません。

バッテリの取扱い

3 バッテリ交換の時期



●バッテリは消耗品です。

・バッテリ寿命は電動カートを使われる回数・走行距離・場所（坂道・平坦路）など条件によって異なります。

・山間部（坂道の多いところ）は、平野部に比べて寿命は短くなります。

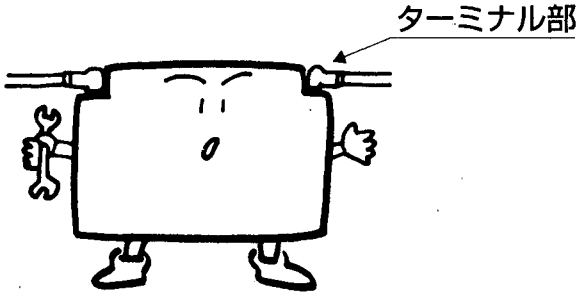
●次のようになったときは、早めにバッテリを新品に交換してください。

・日常のご使用において、バッテリメータの針が「緑の範囲」の右端（Full）で出発して、戻ってきたときに赤の範囲に近づくことが多くなったとき。

・一回の走行できる距離が新品時に比べて、半分以下になったと確認できたとき。

---

4 バッテリの取扱い

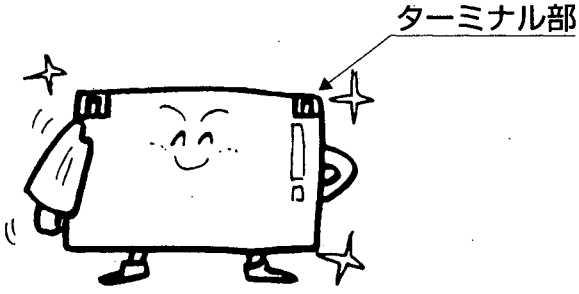


・電動カートのバッテリは、シールド（密閉型）ですので、補水の必要はありません。

・バッテリを交換又は取外し・取付けしたときは、ターミナル部との接続にゆるみがないよう、確実に締付けてください。

---

5 バッテリの清掃



・水・電解液・ほこり・ゴミなどが付着していると、バッテリが放電しやすくなります。固く絞った濡れ布切れなどでよく拭取ってください。

・ターミナル部に白い粉がついているときは、ぬるま湯で拭くとよく落ちます。

バッテリの取扱い

6 バッテリの取扱いの警告表示【バッテリの本体表示(ラベル)】

・通常の充電作業の他に、バッテリカバーを外してバッテリに直接触れる作業を行なう場合は、次のバッテリに貼付してあるラベルの注意事項に従ってください。

危険・警告

・＋端子と－端子を接触させないでください。火傷や発煙・爆発などの原因になる恐れがあります。
・バッテリに火気を近づけないでください。火気が原因で引火・爆発の恐れがあります。
・バッテリは内部に劇物の希硫酸を保持しています。バッテリが漏液して液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受けてください。
・分解・改造しないでください。分解・改造するとバッテリを漏液、発熱、爆発させる原因になることがあります。
・密閉状態(容器など)での充電はしないでください。容器の破裂による人身損傷の原因になる恐れがあります。

注意

・バッテリの点検は、電源スイッチをOFF(切り)にし、充電コードをコンセントから抜いた状態で行なってください。
・バッテリを持ち上げるときは、必ず両手で本体下部を持ってください。
・バッテリは正しい向きで載せ、確実に固定してください。
・電動カートのバッテリを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

7 バッテリの交換

・交換が必要なときは、必ず純正バッテリを使用してください。純正以外のバッテリを使用すると故障の原因となりますので、保証できません。
・新品バッテリが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

純正バッテリ　CSB1234

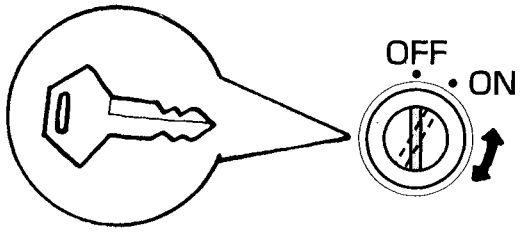
注意

＊不要になったバッテリは取扱い・処置に注意してください。
・バッテリの廃棄時は、お買上げの販売店にご相談ください。
・火の中に入れたり、分解しないでください。

バッテリの取扱い

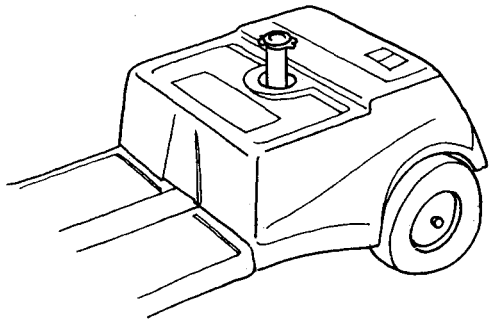
バッテリの取外し方

1 電源スイッチをOFF(切り)にして，
必ずキーを抜いてください。



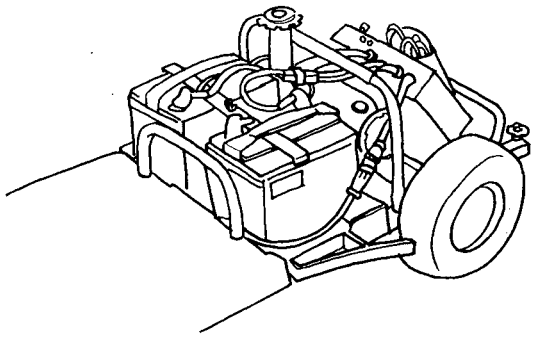
---

2 シートを取外してください。
シートを上に持ち上げてください。



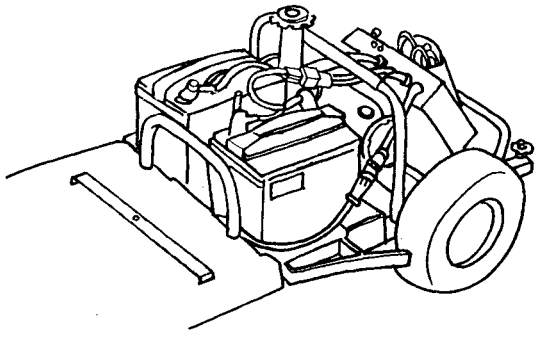
---

3 後輪カバーを取外してください。



---

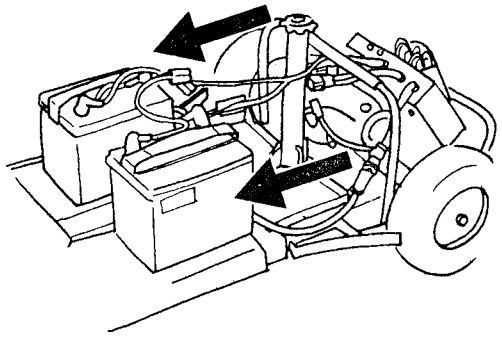
4 バッテリ固定金具を取り外してください。



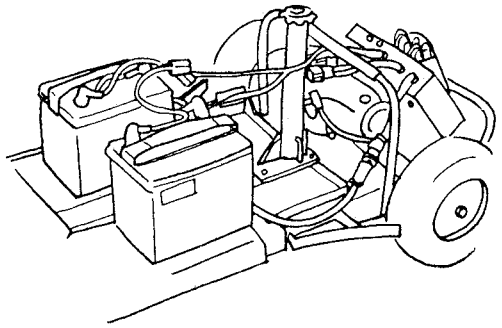
バッテリの取扱い

バッテリの取外し方（続き）

5 バッテリ接続コネクタ（2ケ所）を外し、2個のバッテリをそれぞれステップ部に移動してください。



6 バッテリの接続配線を取り外してください。バッテリを取外してください。



バッテリ重量　1個　約11kg

危険

＊接続配線を外すとき、＋側の配線が－側に、－側の配線が＋側に接触したり、工具などの金物が＋側と－側を短絡させると火花が出て人身事故及び故障の原因となります。

バッテリの取扱い

危 険

＊万一落として破損した場合、バッテリには人体に有害な希硫酸が入っています。目・皮膚及び衣服などについたときは、直ちに多量の水で洗い流し、専門医師の治療を受けてください。

注 意

＊バッテリの接続配線を持たないでください。

＊バッテリは重いので落下させる恐れがあります。必ず、両手で持ってください。

＊電動カートのバッテリを人工呼吸装置等の生命維持装置の電源等には使用しないでください。

バッテリの取付け方

取付け方は，取外し方と逆の手順で行なってください。

危 険

＊接続配線をつけるとき、＋側の配線が－側に、－側の配線が＋側に接触したり、工具などの金物が＋側と－側を短絡させると火花が出て人身事故及び故障の原因となります。

重 要

＊接続配線をバッテリに付けるとき、＋側と－側を間違わないようにしてください。逆に付けると、充電器の故障につながります。

＊バッテリは、正しい向きで取付けてください。

＊バッテリは、固定金具で確実に固定してください。

保守のしかた

●走行する前の点検のときはP.17の走行前の点検項目で、日常点検・整備のときは、P.34の定期点検項目について点検し、異常があれば、整備・修理を行なってください。

●専門的な技術や特殊な装置・工具・検査具などを必要とするときも、お買上げの販売店にご相談ください。

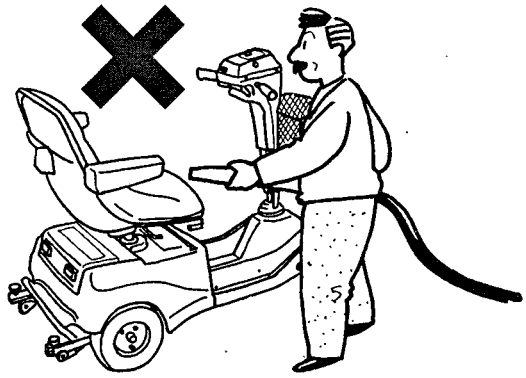
手入れと保管

注 意

※点検・整備をする前に、必ず電源スイッチキーを「OFF(切り)」にして、充電コードのプラグをコンセントから抜いてください。

電動カートは、あなたにとって大切なものです。お掃除をしたり、タイヤなどにキズや悪いところがないかを点検して、日頃からお手入れをしてください。

1 掃除のしかた



ぬれ雑巾で汚れを落としてください。汚れのひどい所は中性洗剤で拭いてください。

重 要

＊電動カートは、電気部品をたくさん使用しています。故障の原因となりますので、水洗いは絶対にしないでください。
＊カバーをガソリン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。変形・損傷などの原因となります。

2 タイヤの点検・調整

注 意

＊タイヤの空気圧は、取扱説明書（➡ P.33）に記載している適正空気圧を必ず守ってください。空気のいれ過ぎは、タイヤ破裂の恐れがあり死傷事故を引き起こす原因になります。
＊タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破裂の恐れがあります。
＊タイヤ、チューブ、リムなどの交換、修理は必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行うように法で決められています。空気の補充・調整は、特別教育を受ける必要はありません。）

手入れと保管

タイヤの空気圧

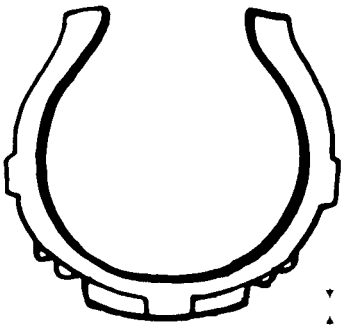
タイヤの適正空気圧

前輪・後輪共	180～200kPa (1.8～2.0kgf／cm^2)

重　要

＊タイヤの空気入口は，自動車やバイクと同じです。
＊タイヤの空気圧は使用しているうちに減ってきます。タイヤの空気圧が減ると，路面との摩擦が増して電気をたくさん使うので，走行距離が短くなったり，バッテリの寿命が短くなったりします。また，速度も遅くなります。
＊タイヤの空気圧は3～6ヵ月毎に補充してください。
＊ガソリンスタンドやバイク店などで補充してもらってください。

タイヤの摩耗限度



タイヤの溝が0.5mm以下になったら交換してください。タイヤの溝がなくなり，スリップすると危険です。

---

3 保　管

電動カートは，屋外，又は軒先などでは車体カバーなどをかけて，雨や直射日光に当たらないように保管してください。

注　意

＊電源スイッチのキーは必ず抜取ってください。

定期点検

電動カートを安全に使用していただくために，下記の定期点検を行なってください。

・電動カートを使用しないときも定期点検は必ず実施してください。
・電動カートを長期間(特に冬場など)使用しなかった後に，使用を再開される場合は，使用する前に定期点検を実施してください。

点検項目		点検内容
制動装置	電磁ブレーキ	平坦路で1m以内で止まりますか？ 下り坂(10度以下)では，1.5m以内で止まりますか？
操舵装置	ハンドル	スムーズに動きますか？ ハンドルの根元のネジのゆるみや、ガタがないですか？ 前輪タイヤ取付け部のゆるみや、ガタがないですか？
電装装置	バッテリメータ	バッテリメータの針が緑の範囲にありますか？
	電源スイッチ	電源ランプが点灯していますか？
	（前進・後進）アクセルレバー	前進しますか？後進しますか？ 押し加減による速度調整ができますか？
	速度切換えダイヤル	速度は変わりますか？
	ホーンボタン	ホーンは鳴りますか？
充電装置	充電器	充電器は作動しますか？ （赤いランプ）は点灯しますか？ 充電コードの損傷はないですか？
	バッテリ	ターミナルのゆるみや，損傷はないですか？ 配線コネクタのゆるみや，損傷はないですか？ バッテリの損傷はないですか？
駆動装置	モータ	発進、停止はスムーズですか？ 異音の発生はないですか？ 配線コネクタのゆるみや、損傷はないですか？
	ブレーキ解除スイッチ	ブレーキ解除スイッチボタンを押すと手押しできますか？
	ミッション	異音はないですか？ グリスの漏れはありませんか？
走行装置	タイヤ	空気圧は減っていませんか？ 摩耗や損傷はないですか？ 釘・石など，異物が刺さってないですか？
	タイヤ取付け部	ゆるみや，ガタはないですか？
その他		車体の損傷はないですか？ 車体やシートにゆるみや、ガタはないですか？ ボルト・ナットのゆるみはないですか？ パンクの修理，バッテリの交換などで手を加えた場合は，その部分の固定状態を点検してください。

定期点検記録簿

販売店の方へ

定期点検時には，下表に記入をお願いします。

点検項目	1回目 (購入後3ヵ月)	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
制動装置						
操舵装置						
電装装置						
充電装置						
駆動装置						
走行装置						
その他						
点検実施店名						
実施年月日						
備　考						

故障のときの処置

次のような現象がみられたら、以下の表に従い点検してください。それでも異常があれば、使用を中止し、販売店にご連絡ください。

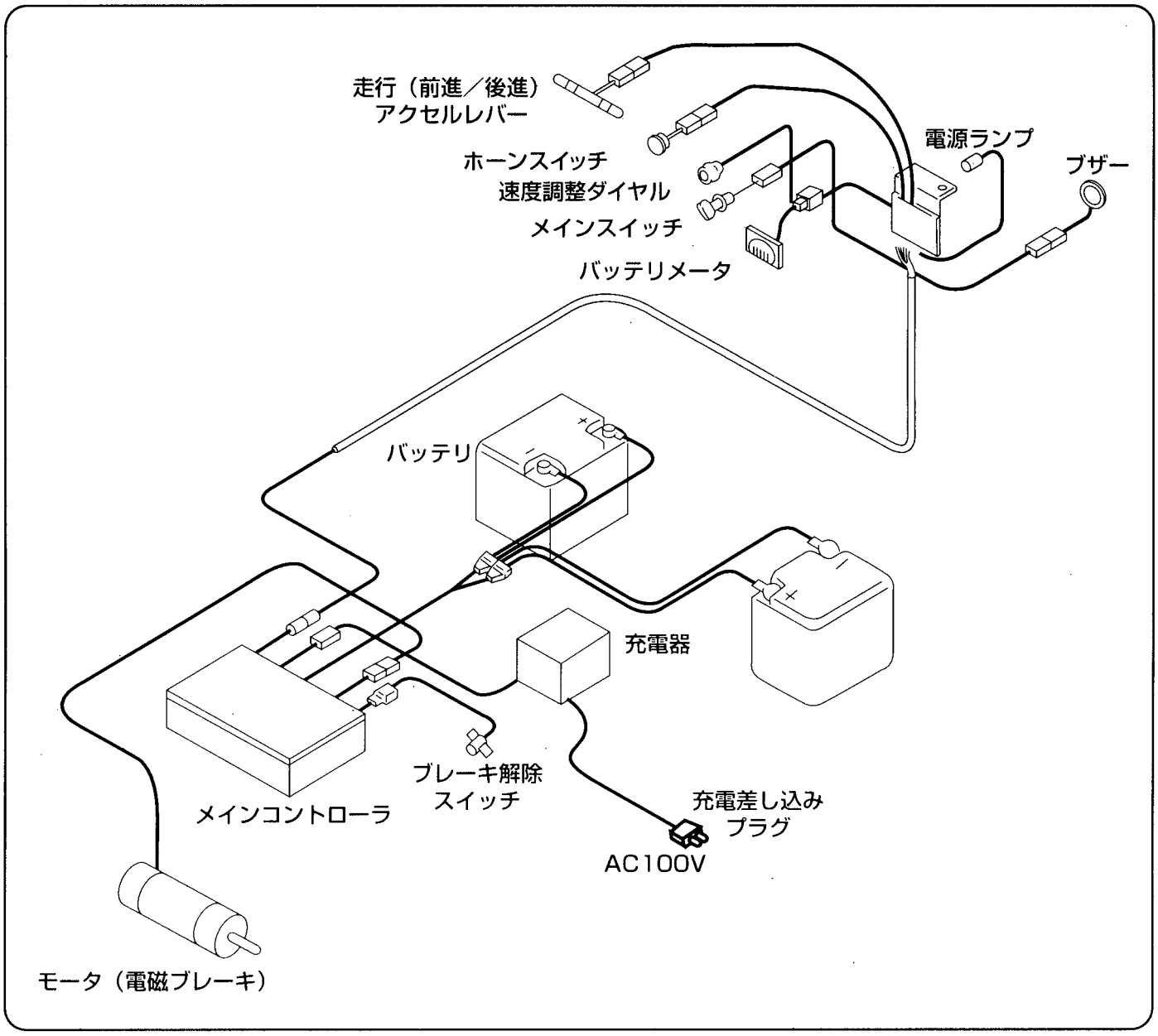
現　　象	点　　検	処 置 方 法
発進しない	・電源スイッチがOFF(切り)の位置になっていませんか?	ON(入り)の位置にしてください。
	・電源スイッチON(入り)のまま放置してありませんでしたか?	電源スイッチをOFF(切り)にし、再度ON(入り)にしてください。
	・バッテリメータの針が赤の範囲になっていませんか?	バッテリを充電してください。
	・コネクタが外れていませんか?	コネクタを確実に差し込んでください。
走行中、停止した	・バッテリメータの針が赤の範囲になっていませんか?	電源スイッチをOFF(切り)にし、しばらく休んだ後「遅い」速度で移動し、直ちに充電してください。
充電確認ランプ(赤いランプ)点灯しない	・AC100Vの電源がきていますか?	元のスイッチが入っているか確認してください。 (別の電気機器(ドライヤーなど)をつないでみてください。) 別のコンセントに差し込んでみてください。
	・充電コードのプラグが抜けかかっていませんか?	プラグを確実に差し込んでください。
充電確認ランプの緑ランプが点灯しない		販売店にご連絡ください。
走行距離が短くなった(バッテリメータの針が早く赤い範囲になる)	・タイヤの空気圧が減っていませんか?	適正空気圧になるように空気を入れてください。
	・バッテリが寿命になっていませんか?	販売店にご連絡ください。
速度が遅くなった	・タイヤの空気圧が減っていませんか?	適正空気圧になるように空気を入れてください。
発進及び停止時に、振動・異音がある		販売店にご連絡ください。

・水につかったとき、走行、充電等の使用を中止し、販売店にご連絡ください。

注　意

＊傾斜地で動かなくなったときは、ブレーキ解除スイッチボタンを押して動かさないで、介助者などの応援をたのみ、平坦で安全な場所に移動してから点検してください。
＊ブレーキ解除スイッチボタンを押した状態では、ブレーキがききません。

電気配線図


走行（前進／後進）
アクセルレバー
ホーンスイッチ
速度調整ダイヤル
メインスイッチ
バッテリメータ
電源ランプ
ブザー
バッテリ
充電器
メインコントローラ
ブレーキ解除
スイッチ
充電差し込み
プラグ
AC100V
モータ（電磁ブレーキ）

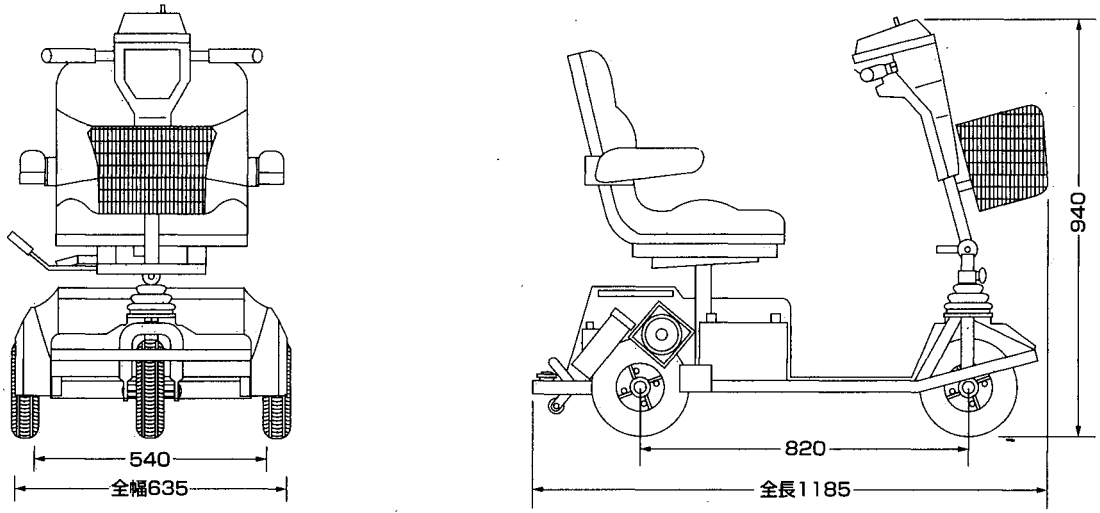
主要諸元／寸法図

主要諸元

形式		SP-13
全長×全幅×全高		1185×635×940mm
質量	本体(除バッテリ)	57.5kg
	総質量(含バッテリ)	80kg
車輪		前輪:214　後輪(左右):236
バッテリ		12V×29Ah×2個(シールド)
モーター(最大出力)		24V／350W
駆動方式		後2輪直接駆動(デフ付)
制動方式		発電ブレーキ+電磁ブレーキ
速度制御方式		走行(前進／後進)アクセルレバーによる無段階制御
充電器		交流100V用、直流24V、内装型電子タイマ付自動充電器
速度	前進	速い:6.0(km/h)～　遅い:0(微速)
	後進	速い:2.0(km/h)～　遅い:0(微速)
実用登坂角度		10度
段差乗越え高さ		前進70mm　後進40mm
溝乗越え幅		100mm
最小回転半径		1250mm
連続走行時間		4～5時間 (バッテリ新品、満充電、常温、最高速度、標準体重(75kg)、平坦路、70%放電までの時間)
最大乗車質量		100kg(搭乗者・手荷物を含む)
シート		はねあげ式ひじかけ付回転式 (左右各45°、90°の2段階)
諸装置		バックブザー

※：この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図



(単位：mm)

アフターサービスについて

1.保証書

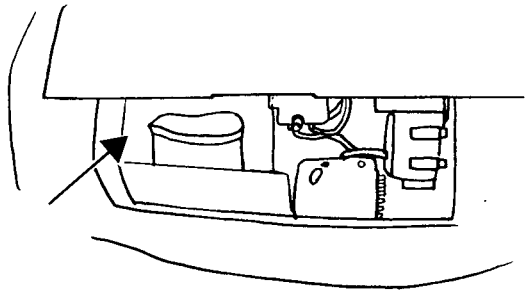
この商品には保証書を添付しています。必ず「販売店名・お渡し日(説明日)」の記入をお確かめになり，保証内容をよくお読みの上，大切に保存してください。

2.アフターサービス

・ご使用中の故障や修理などご不明の場合は，お買上げの販売店にお問合わせください。

その際、機械の種類と製作番号を併せてご連絡ください。

・純正部品をご使用ください。



型式名・製作番号

種　　類	電動カート
形　　式	
製作番号	
製造元	MERITS HEALTH PRODUCTS CO.,LTD.

警　告

＊電動カートの改造は事故・故障の原因となりますので、しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

株式会社クボタ

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556	電(06)	648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号 住友生命博多ビル	〒812	電(092)	473-2401
札幌支店	札幌市西区西町北16丁目１番１号	〒063	電(011)	662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022)	384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048)	862-1121
大阪支店	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8506
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-24	電(0297)	52-5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1121
西日本総合部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722)	45-8601
東日本総合部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-24	電(0297)	52-0510
北海道部品センター	北海道北広島市大曲工業団地３丁目１番地	〒061-12	電(011)	376-2335
九州部品センター	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
株式会社クボタアグリ東北				
秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022)	384-5151
株式会社クボタアグリ東京				
東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048)	862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025)	285-1261
株式会社クボタアグリ大阪				
金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586)	24-5111
大阪事業所	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8550
株式会社クボタアグリ中四国				
米子事業所	米子市米原７丁目１番１号	〒683	電(0859)	33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878)	74-5091
株式会社クボタアグリ九州				
福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096)	357-6181

AB. ☆. 2－2. 0. K　品番　Y0041-6111-1